

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

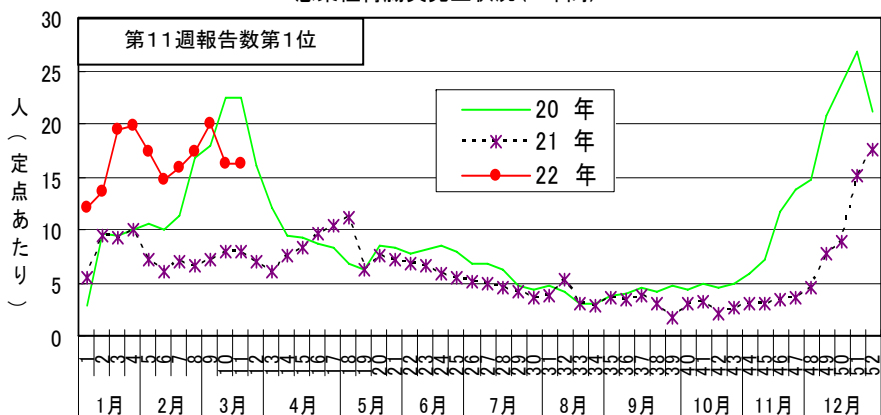


KAWASAKI CITY

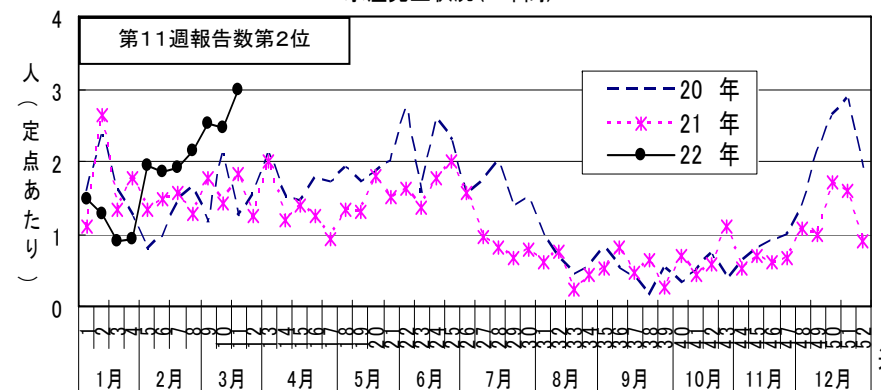
## 平成22年3月15日（月）～3月21日（日）〔平成22年第11週〕の感染症発生状況

第11週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。  
 感染性胃腸炎が定点あたり16.19人と患者報告数は少し減少しましたが、区別では多摩区が定点あたり25.40人と警報基準値の定点あたり20人を超えています。  
 水痘は定点あたり3.00人で、特に川崎区と多摩区に報告が多く、流行発生注意報基準値（定点あたり4人）を超えています。  
 インフルエンザは、定点あたり0.32人と8週連続で報告数が減少しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



## 春から夏にかけて気をつけたい感染症！！

例年、春から夏に患者報告数が増加する感染症として「麻疹（はしか）」が有名ですが、他にも「咽頭結膜熱（プール熱）」や「手足口病・ヘルパンギーナ」等があります。新年度を迎えるにあたり、人が多く集まる場所に行くことが増えると思いますので、予防接種や手洗い・うがいを徹底し、これらの感染症に注意しましょう。

### 咽頭結膜熱

- \* 症状
  - ① 高熱（38℃～40℃が3～5日続きます）
  - ② 咽頭炎（のどが痛くなり、赤く腫れます）
  - ③ 結膜炎（眼が赤くなり、目やにが出ます）

\* 気をつけたいこと  
 症状が出る数日前から症状が消失するまでは人に感染させるおそれがあり、注意が必要です。予防としては、流行時にうがい、手洗いをよくしましょう。また、プールからの感染を防ぐため、プールにはいる前後には必ずシャワーを浴びる、眼を洗う、他人とタオルを共用しない、などを心がけましょう。

### 手足口病・ヘルパンギーナ

- \* 症状
  - （手足口病）口（口腔粘膜）、手、足などに現れる水疱性の発疹が主症状。
  - （ヘルパンギーナ）38～40℃の発熱（1から3日）と咽頭痛、のどの入り口付近の水疱が主症状。

\* 気をつけたいこと  
 ウイルスに汚染された手指からの感染を防ぐためによく手を洗いましょう。特に排泄物の取扱には注意しましょう。口の中の水疱が痛くて飲食ができないときがあるので、脱水症状に注意して水分補給を心がけましょう。

### 麻疹

麻疹は感染力が強く、免疫がない人が感染を受けるとほぼ100%発症します。発症した場合、特異的な治療法はなく、対症療法を行うことになります。よって、最も効果的な予防対策として、予防接種を行うことが重要です。4月からの入園・入学に備えて、麻疹を含め、その他必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。予防接種の目的は、「子どもたちや人々を感染症から守る」ことにあります。法律で定められた予防接種がすすんでいるか、この機会に母子健康手帳で確認してみましょう。

麻疹のワクチンを今年度に公費負担で接種できる対象の方は、平成22年3月31日までが期限となりますのでご注意ください。

